

あきたへ、あなたも、あしたから

Aターン情報誌

あきた日和

vol. 57 AKITA BIYORI
2012. 春号



Aターン インタビュー

ナガハマコーヒー株式会社 田中 律至さん

Aターン者採用企業の紹介

ナガハマコーヒー株式会社

データで見る

Aターン登録者の就職

あきた ア・ラ・カルト

もう出会いましたか?
とびっきりのあきたびじょん。

Aターン年間スケジュール



公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

子どもを育て、秋田暮らしを楽しみ、おいしいお菓子を作りたい!

ナガハマコーヒー株式会社
プロダクト事業部スイーツラボ パティシエ

たなか のりゆき
田中 律至さん

神戸市出身
昭和45年生まれ 41歳



田中律至さんは、京都、神戸、東京の一流ホテルで延べ20年以上のキャリアを積んできたベテランパティシエ。ホテルでの仕事は、ウエディングケーキ、パーティーやレストランのデザート、カフェやショップに出すスイーツなど幅広く、新商品・メニューの開発から売り上げ管理まで超多忙な日々を送っていました。生まれも育ちも関西で、秋田とは無縁の人生を送ってきた田中さんが、秋田に移り住むきっかけになったのは、「子どもを育てるなら秋田で」という婚約者のひと言でした。

「子どもは秋田で育てたい」「それもいいかな」

Q. 一流ホテルのパティシエから一転Aターン。そのターニングポイントは?

A. 同じパティシエとして働いていた婚約者が秋田出身で「将来子どもができれば秋田で育てたい」という夢がありました。私の方は「それもいいかな」って最初は軽い気持ちでしたね。喜んでくれるかと思った彼女の両親には「秋田での就職は難しいから無理するな」といわれちゃいましたけど(笑)。

無理かどうかは別にして、まずは秋田で働くところを探そうと、いろいろあたってみたくて。Aターンプラザをインターネットで見つけ、去年の10月に2人で登録しました。最初に現職のリクエストが来たのは彼女のほうだったんです。年齢もハードルになっていたのか、私の就職はなかなか決まりませんでした。そこで2人で相談し、彼女の代わりに自分を採用してもらえるようお願いしたというのがいきさつです。

ADVICE リクエスト制度とは?

Aターン登録者へ就職情報を提供する一方で、求人登録している企業から「この登録者と面接したい」という要望(リクエスト)がくる場合があります。この際は、Aターン登録者の応募の意思を確認した上で、面接などをセッティングさせていただきます。



動きながら考える

Q. Aターン登録から採用まで約半年。さりげなく決断したわりに、展開は早かったですね。迷いはありませんでしたか?

A. 10月に登録して内定が2月、4月から働き始めましたから、結果的には急展開ですね。といっても前職に不満があったわけでもないんですよ。忙しいのは嫌いじゃないし、自分のペースで働いていましたから。むしろ、就職先が決まってからバタバタするより、早めに退職を申し出、仕事の引き継ぎもしっかりやって、なるべく職場に迷惑をかけないようにしたいと考えていました。

それさえきちんとできれば、秋田での就職が難航しても、つなぎの仕事をして待てばいいと思っていました。出たところ勝負とか、動きながら考えるというか。私の中ではそんな心づもりはできていました。

いざ就職が決まった時一番驚いたのはうちの両親ですね。関西人の2人にとって、秋田は本当に未知の世界ですから。もちろん私にとっても秋田は初めてですが、関西、九州、東京と色々な街で働いてきたこともあり、その延長ぐらいに考えていたのかもしれないですね。



秋田暮らしはこれから楽しみ!

Q. 初めて秋田に来たのが真冬だったそうですが、暮らし始めた印象は?

A. 引っ越してきたのは今年の2月、秋田は遠い寒い!でも新幹線の窓から見た雪景色がとってもきれいでした。10年ぶりにクルマを買い、冬道を運転するスリルもたっぷり実感しましたね(笑)。

4月から働き始めたばかりで、休日も雑用に追われているものですから、まだ生活のリズムがつかめていません。でも同じ仕事だし、さほど生活は変わってないと思います。ただ、東京時代に休日の大半を費やしていたテニスを再開したくて、テニスクラブをいろいろ見て回っているところです。彼女の両親にはゴルフをすすめられているんですが、私はやっぱりテニス(笑)。そして、これから秋田もいい季節になるのでいろいろな所に出かけたいですね。

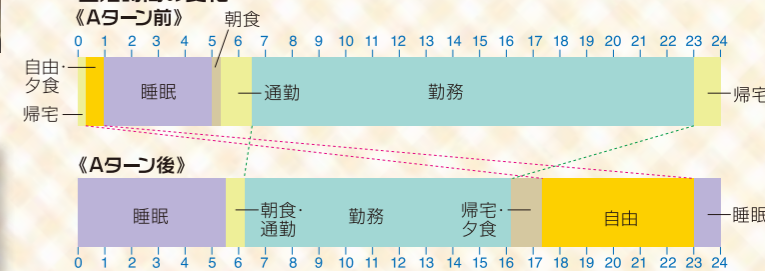
ADVICE ネットで見る“秋田暮らし”のツボ

公益財団法人秋田県ふるさと定住機構では、四季折々の自然や文化・歴史、衣食住など、秋田県内各市町村の魅力と暮らしのポイントをインターネットでも幅広くご紹介しています。「あきたに住もう!秋田暮らしはじめの一步」
<http://www.furusato-teiju.jp/teijushien/>

に新商品もどんどん提案して、カフェのお客さまに喜んでいただける商品をたくさん作っていきたくですね。そして、プライダルやパーティー向けのケーキのバリエーションももっと広げられたらいいですね。

できれば、秋田の名菓といわれるような商品も開発してみたいんです。これは一般的に1000個に1個当たればいいという難しいテーマですが、秋田の代表名菓とか、通販人気商品といわれるものが作れたら最高ですね。おいしい食材やお菓子は県内各地にありそうですから、それも参考にしてじっくりアイデアを練っていこうと思います。

生活時間の変化



MESSAGE 田中さんからのメッセージ

決断したらとてあえず動く、考えるのはその後というのが私の性格。迷っただけでは、前に進めないし、何も変わりませんからね。今回のAターンもそんな感じてしたが、なんとかここまでこぎつけました。でもそれほど急ぐ必要もなければ、あせらずチャンスを持って、じっくり決断し、余裕を持って行動に移すことが一番でしょうね。

職場の先輩からメッセージ



どんなケーキが生まれるか楽しみ!

弊社は、1981年コーヒーロースターとしての会社設立から、秋田市内5店舗のカフェ事業へと展開を重ねてきました。田中さんが働くスイーツラボは、2009年に開設された新しい部署です。カフェのお客さまに提供するケーキやスイーツの商品開発や製造はもちろん、ウエディングケーキやご贈答用商品など、これからの幅広い商品展開のための重点事業になっています。田中さんを含む4人のパティシエチームで、キャリアとセンスをどんどん発揮してほしいですね。これからどんなケーキが生まれるか楽しみにしています。

ナガハマコーヒーカフェ事業部 御野場店 チーフパスタ山上 亜希子さん



秋田の朝はナガハマコーヒーから…

ナガハマコーヒー株式会社

『秋田の朝はナガハマコーヒーから…』というキャッチフレーズのもと、地域に根ざしたコーヒーロースターを目指し、ブラジル政府公認コーヒー鑑定士が良質な生豆を厳選して仕入れ、手間をおしまず、新鮮な状態でお手元までお届けしています。さらに、職場へお届けしているオフィスコーヒー事業や安らぎ・憩いのためのカフェの店舗展開、焙煎工場直送のご家庭への配送、小売店や業務店への卸し業務などを行っています。

クラシフィカドールとは、鑑定士、格付審査員、カップテスターなどと呼ばれ、現在、国家レベルで唯一公認されている資格で、ブラジル政府が公認しています。単にコーヒーの品質審査だけでなく、ワインのソムリエと同じように、買付、国内販売、輸出といった商才も求められるため、品質を見分けられることはもちろん、相場感覚や英語その他の語学力などの総合的な能力が求められます。



国際審査員を務めるクラシフィカドールが厳しくチェックしたコーヒー豆

生産国各国で行われている、その年その国の一番美味しいコーヒーを決めるコンペティション『カップ・オブ・エクセレンス』へ国際審査員として参加しています。その確かな味覚管理技術を持つ技術者が正確に味を把握し、厳選したスペシャルティコーヒーだけを原料に使用しています。またコンペティションで入賞した豆もオークションで落札し、積極的に提供しています。

広面店



秋田市広面字近藤越61-2
TEL.018-834-8125

山王店



秋田市山王1丁目2-24-101
TEL.018-896-5081

秋田駅前店



秋田市千秋久保田町4-2
秋田フォーラス1F/2F
TEL.018-825-7051

外旭川店



秋田市外旭川小谷地110-1
TEL.018-868-7301

御野場店



秋田市仁井田本町5丁目8-28
TEL.018-853-0711

ビーンズ大曲店



大仙市大曲栄町13-68
TEL.0187-73-7080

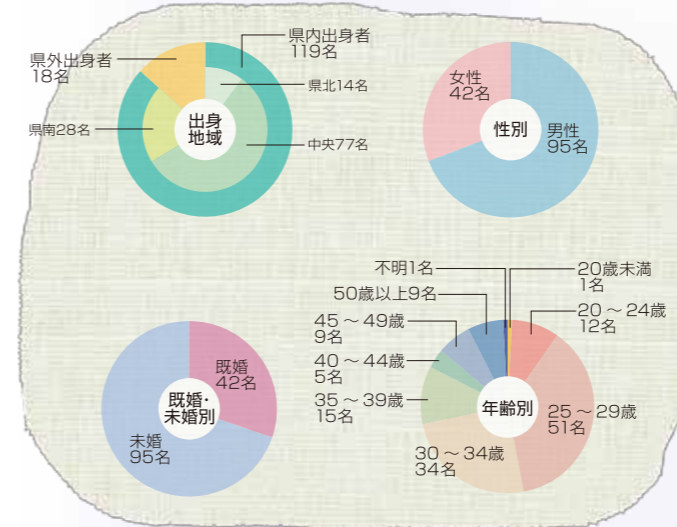


ナガハマコーヒー株式会社
NAGAHAMA COFFEE Inc.

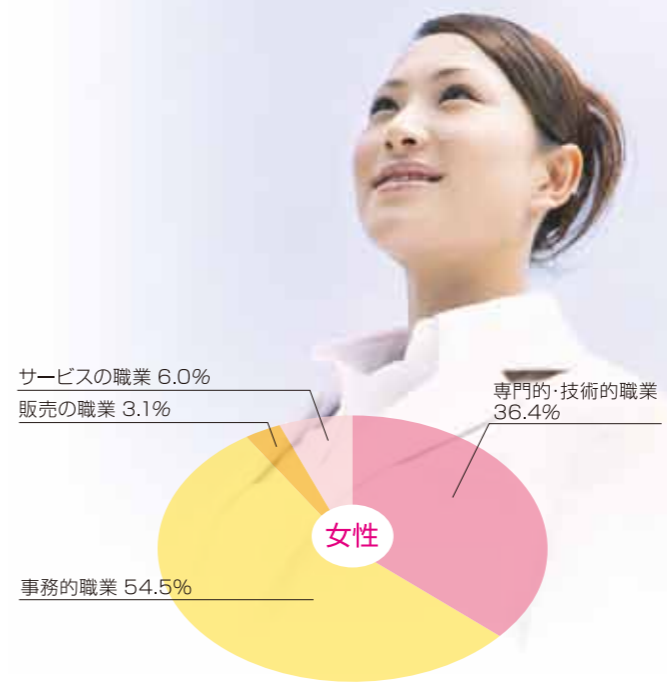
本社/総務部 オフィスコーヒー事業部大曲デポ
〒014-0061 秋田県大仙市大曲栄町13-68 TEL.0187-63-0207 FAX.0187-63-6780
直通オフィスコーヒー事業部大曲 TEL.0187-63-8501

データで見る Aターン登録者の就職

昨年度は(平成23年4月～平成24年3月)1年間でAターン登録者137名の方々がAターン就職されました。この数字は、平成11年以来12年ぶりの高い数字となっております。

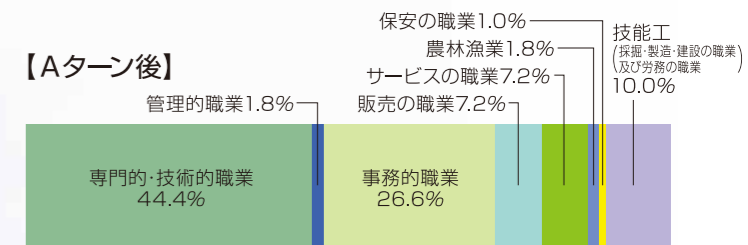
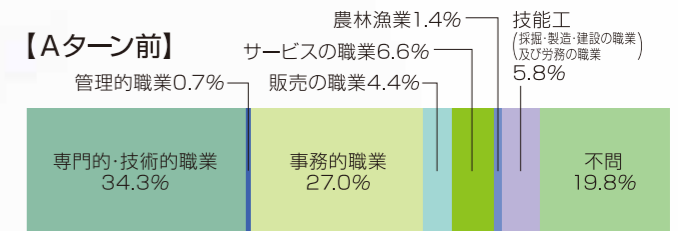


男女別Aターン後の職種



DATA

希望職種と実際に就いた職種



Aターンプラザ秋田より

応募前の心構えや事前にご留意いただきたいことなどの事例をご紹介します。

労働条件等

現在の職場と賃金など労働条件に違いがあるケースでは、多少の違いは妥協するのか、それとも同程度の求人条件を探すのかは、Aターンをする時期によって、求職活動の仕方が変わります。決めかねている方は、Aターンプラザに一度ご相談ください。

企業の意向と求職活動

求人の少ない現状では、なかなか内定が得られず複数企業へ応募するうちに、ようやく内定を得られたケースが多く見られました。応募者が多く書類選考を通過することが難しいことや地元の方を採用したいという企業の意向が伺えます。また、採用に至るには双方のタイミングもあります。今月いっぱい秋田に転居予定の方など、企業側でAターン時期を調整する必要がない方は、地元応募の方と併せて選考していただけるケースもありますので、交通費助成制度を利用しながら、強い気持ちで求職活動されることをお勧めします。

応募前の検討や準備

Aターン希望者を採用する企業は、「即戦力としての技術・経験の程度」、「就職可能な時期」、「Aターン後の生活環境」等、多くのことを考えて下さいます。就職可能な時期については、双方のタイミングもありますが、多くの場合調整ができなければ不採用となってしまいます。また、採用に至るには双方のタイミングも重要です。今月いっぱい秋田に転居予定の方など、企業側でAターン時期を調整する必要がない方は、地元応募の方と併せて選考していただけるケースもありますので、交通費助成制度を利用しながら、強い気持ちで求職活動されることをお勧めします。

もう出会いましたか？ とびっきりのあきたびじょん。

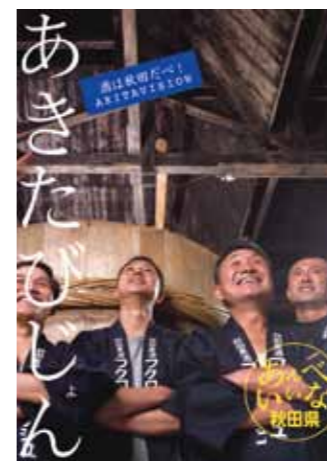


Aターンに役立つ最新情報発信！
秋田のイメージアッププロジェクト
首都圏に向けて本格始動！



あきた
びじょん

ユタカナ国へ



+ びじょん+秋田名物=びじょん?

今年3月、首都圏のJR36駅に秋田名物をテーマにした4枚のポスターが張り出されました。最も目を惹くのは秋田の美しい女性(撮影・木村伊兵衛)。「ユタカナ国へ あきたびじょん」?いやいや、よく見ると「あきたびじょん」と書かれています。さらにもう3枚のポスターは温泉、農、酒、いずれも秋田の代表的な名物です。びじょん+秋田名物=びじょん?

これは、この春から首都圏を中心にスタートした秋田のイメージアップキャンペーン。今後2年間にわたり、交通広告、テレビCM、インターネットの特設サイトと、さまざまなメディアで発信されます。さて、その秋田の魅力・ビジョンとは?



+ あきたびじょんって?

美人はもちろん、温泉、米、日本酒はもうおなじみの秋田名物。そこには、自然と歴史が紡いできた恩恵を慈しみ、守ってきた人々の知恵と技があり、誰もが安心して顔をほころばせ、暮らしに寄り添う親しみやすさがあります。秋田から全国に向けて発信し、提供しようとしているビジョンとは、そうしたちょうどいい心地よさ、ほっとする快適さであり、これを秋田弁で「あんべいい(塩梅がいい)」といいます。今年から始まった「あきたびじょんプロジェクト」では、そんな「あんべいい秋田」を、県内各地の人々が熱く語ります。

+ 第一弾のキーワードは美人、温泉、農、酒!

秋田の印象は?と聞かれた時、最先端の都会的な風景、効率的な便利さ、華やかなにぎやかさをイメージする人はすくないかもしれません。そのかわりにたっぷり味わえるのが、訪れた人を心地よくさせる「あんべいい」空間とモノ・ヒトです。例えば、3月の第一弾で発表されたキーワードは美人、温泉、農、酒の四つ。「美人を作る秋田米」で知られる秋田県の食料自給率は175%(全国平均40%)。農業に携わる女性の起業率も全国トップを誇ります。もちろんどなたも秋田美人です。

その米で作る日本酒は、日本最大規模の日本酒コンテスト・全国新酒鑑評会でも、毎年全国トップレベルと評価されています。そんな酒の国は消費量も全国2位。全国平均のほぼ2倍で、県内で消費される日本酒の大半が県産酒。秋田県民は秋田のお酒が大好きです。

乳頭温泉や玉川温泉など、県内の大半の市町村にある温泉の数は約300。露天風呂はもちろん、箱蒸し風呂、岩盤浴、湯の滝、川温泉までよりどりみどりで。

+ 子ども、森林、伝承文化… この秋さらに7つのキーワード!

このプロジェクトは始まったばかり。この後、さらに7つのキーワードで発信されます。例えば「早寝早起き朝ごはん」で全国学力テストもトップクラスの成績を修めた秋田の子ども。秋田杉や白神ブナ林など県全体の面積の72%を占める森林。伝統文化・芸能、四季折々の豊かな食、雪など、秋田の魅力を語るメニューはいろいろ。特に、温泉と日本酒が恋しくなる秋から冬に向けての本格展開が予定されています。



+ 秋田を熱く語る県民が続々登場! 加藤夏希さんも知事も!

この春からスタートしたテレビCM、インターネットのあきたびじょん特設サイトやYouTubeでは、県出身のタレントで「あきた美の国大使」の加藤夏希さん、佐竹敬久県知事も、たくさんの県民も登場。いふりがつこや横手焼きそば、寒造りの日本酒、温泉、秋田犬など、各地にある秋田のタカラモノを、それに関わり楽しむ人々が熱く語りかけていきます。

サイトではさらに、県内の今、各地のイベントや観光情報、旬の話題も随時掲載され、その内容は、FacebookやTwitterでも、チェックすることができます。また、秋田をPRするフリーペーパー

の発行や首都圏でのイベントも数多く予定されています。まずは特設サイトを要チェック。県内各地の魅力や季節の移り変わりなどもリアルタイムで楽しめます。

+ 「秋田って?」「秋田ではね…」 そんなコミュニケーションを育てたい。

秋田には、全国に誇れる風景、モノ、文化のタカラモノがたくさんあり、それにかかわり大切に守り育て、親しんできた人もその陰に必ずいます。県内でも、中にはあまり身近過ぎてタカラモノの価値を見逃してきた人も少なくありません。県民それぞれが、これまで見過ごしてきた秋田のタカラモノを再認識し、全国にアピールすることがこのプロジェクトの目標です。

そして、秋田について何も知らない全国の人にメディアを通じて伝えるだけでなく、Twitter、Facebookなどのソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを広げることももうひとつの狙いです。

サイトで紹介される秋田に興味があれば、秋田を実際に体験したら、そして未体験で「秋田って…?」という場合もケータイなどで気軽につぶやいてみてください。きっとさまざまな声がかえってきます。

あきたびじょん <http://common.pref.akita.lg.jp/akitavision/>

登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

■住所変更連絡欄 (変更後の住所等を記入)

〒 -

☎

■封筒の種類 (どちらかに✓印)

白封筒 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏名 _____ 登録番号 _____

生年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

登録住所 〒 -

☎